

あたらしくはいった本 (平成28年1月 貸出開始資料から)

- 小説 はだれ雪 (葉室麟/著) たんぼぼ団地 (重松清/著)
校閲ガールア・ラ・モード (宮木あや子/著) 掬上今日子の退職願 (西尾維新/著)
真実の10メートル手前 (米澤穂信/著) 消滅世界 (村田沙耶香/著)
終の日までの (森浩美/著) 当確師 (真山仁/著) あの人と同窓会に来ない理由 (はらだみずき/著) 片手の郵便配達人 (グードルン・パウゼヴァング/著)
- 随筆・詩などの文学 文学はなぜ必要か (古橋信孝/著) たましいのふたりごと (川上未映子、穂村弘/著) 一〇三歳、ひとりで生きる作法 (篠田桃紅/著)
東京抒情 (川本三郎/著) 風来鬼語 (西村賢太/著)
神経内科医の文学診断 続 (岩田誠/著)
- その他の本 五郎丸日記 (小松成美/著) 次の本へ 続 (苦楽堂/編)
天皇陛下の私生活 (米窪明美/著) 母乳がいいって絶対ですか? (田房永子/著)
和家具をたのしむ (山本明弘/著) プロのフィギュア観戦術 (鈴木明子/著)



みんなの としょかん



市民図書館

TEL (921) 4646

FAX (921) 4896

http://www.library.dazaifu.fukuoka.jp

としょかんカレンダー

平成28年	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
3	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

○のついた日は休館日

金・土曜日(祝日を除く)は午後7時まで開館しています。

平成27年度 映画(レーザーディスク)をみようかい

場所: プラム・カルコア太宰府研修室

時間: 午後1時30分～ ※入場無料・申し込み不要

3月1日(火)「エデンの東」1954年 アメリカ 1時間55分

※「映画(レーザーディスク)をみようかい」は、上映機器の老朽化にとまひ、今年度にて事業を終了します。

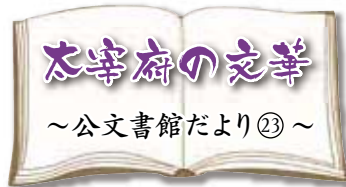
観光道路「梅大路」の完成

昭和31(1956)年の正月、西鉄太宰府線の軌道に沿って五条と大町をつなぐ道路が開通しました。太宰府駅前、4年前の太宰府天満宮1050年大祭に合わせてすでに整備されており、天満宮への初詣客を乗せたバスが新設の道を通って駅前広場へ次々に到着し、参道は大祭以来の盛況となりました。後に「梅大路」と名付けられる新道路は、昭和26年3月31日、太宰府町が都市計画法(旧)の適用地として指定を受けたことにより建設が実現した観光道路です。指定の申請を行うには地方議会の議決が必要で、同25年10月24日に町議会に議案が提出されます(同日可決)。その申請の理由には「太宰府は、由緒深い日本古代文化開発の地であって、先人に劣らない現代文化の都市とするため都市計画を施行する必要がある」とあり(『太宰府町議会議事録』)、歴史文化に対する太宰府町の自覚と、終戦後の新しいまちづくりへ向けての使命感とが見て取れます。

新道路建設は4カ年の計画で事業費は総額1400万円、うち半分は国・県の補助金と寄付に頼り、残り半分は町が負担しました。太宰府天満宮周辺の交通事情を良くするねらいで、既設の五条―新町間道路にはタクシーを、新道路にはバスをという分離誘導策を採り、繁忙期の交通の円滑化を図りました。

ところが初詣に合わせて完成を急いだ新道路、開通当時はまだ仕上がっておらず、水はけ悪い仮舗装の五条口が、ひっきりなしの大型バスの往來であつという間にデコボコに。そこで、元旦から町役場の若手職員が応急処置に乗り出し、にわか仕立ての土木作業員として路面ならしに奮闘したそうです(『太宰府町公民館報』)。

翌32年2月11日、太宰府町ではめでたく観光道路「梅大路」完成祝賀式開催の運びとなります。町会議長による経過報告では、展望として都市計画区域のさらなる拡張などが述べられましたが、インフラの整備だけでなく観光サービスの充実を目指す姿勢もうかがわれ、「ほんとうに愛される観光地太宰府を築き上げたい」と締めくくられています(『太宰府町公民館報』)。この日はともに西鉄福岡―太宰府直通電車の乗り入れ開始も祝われ、仮装したドンタク隊が町内を賑やかに歩きました(『毎日新聞』)。



太宰府市公文書館 藤田 理子